

テーマ 英語に触れる

ミアヘルサ保育園 ゆらりん東品川

テーマの設定理由

日々の生活の中で、何気なく保育士が色を英語で「レッドはあか」「ブルーはあお」とレゴブロックを子どもに見せながら伝えていると、子ども達自身も「あか！レッドだね！」「これは、ブルー！」と発言し英語に興味を持っている姿が見られた。ミアヘルサ保育園ゆらりん東品川では月に2回外部の講師が英語教室を開いてくれる機会があるので、まずは「英語とは何か」と言うところから子どもに知ってほしいと言う思いを込めて、テーマを「英語」にしました。

活動事例① 楽しく英語に参加する



保育者の振り返りと気づき

○4月は人見知りで泣いていることが多かった子どもたちも、回数を重ねることで落ち着いて参加することができるようになった。
○音楽が流れると馴染みのあるリズムに気持ちが高まり立ち上がったり、身体を揺らしたりして楽しむことができている。
○以前から話している「レッド」「ブルー」など色の単語については真似をして発音して楽しむ姿があったが、講師からの「what is this?」など英語での問い合わせはまだあまり理解できていない様子で、反応が薄いことが多い。
☆このことからまずはおもちゃなどを使用して子どもの興味を引き出せるようにしていくことが必要だと感じた。そのため、次回は英語に関するおもちゃで遊び、遊びを通して英語を身近に感じながら興味を高めていくようにしていく。

対象年齢 1歳児クラス

用意した環境

英語講師との打ち合わせ、英語に興味を持つ、英語のCDや教材

活動スケジュール

活動内容	時間/回	人数/回
1	楽しく英語に触れる	① 8人 ② 8人
2	英語のおもちゃで遊んでみよう	① 5人 ② 4人
3	ペイント体験～この色なんだ～	① 6人
4	なにがあるかな？～お散歩で英語発見～	① 6人

活動事例② 英語のおもちゃで遊んでみよう

活動内容

英語教材や、玩具を使用して遊ぶことを楽しみながら、英語への興味を高め、理解を深める。



保育者の振り返りと気づき

○初めて見る玩具に興味を持って近づく児が多く、講師に実際に発音してもらうことでやりとりを楽しみながら英語に親しみをもつことができた。

○保育者や講師も玩具の発言に繰り返してゆっくり丁寧に英語を発音することで、子どもがより単語を理解しやすいうように関わることができた。また、保育者が同じ言葉を何度も発言していると子どもも覚えてくるようで、カードを見ただけで「ブルー」「ピンク」など簡単な単語を答えることができていた。

☆英語への興味も深まり、特に色の表現の仕方を理解することができたため、次回は絵の具を使った活動を取り入れ、英語講師と触れ合いながら色を中心としたさまざまな英語表現を学ぶことができるようしていく。

用意した環境・保育者の配慮

・キッズ英語レッスンカード（英語の単語が鳴る玩具）

・英語レッスンで使用する視覚的な教材

→初めての玩具に興味津々で取り合いになる可能性もあるため、少人数づつ行うようにし、みんなが必ず触ることができるよう配慮する。また、無くならないように管理しカードの出した数を数えておき、片付ける際には全てあるか確実に確認するようする。



活動事例③ 「ペイント体験～この色なんだ～」

活動内容

絵の具遊びを行いながら絵の具の色を英語で教えてもらったり、色を混ぜて色々な色を作りながら講師とのやりとりを楽しんだりする。



用意した環境・保育者の配慮

・絵の具（画用紙、絵の具を入れるパレット、雑巾、汚れてもいい服）
→絵の具を踏んで滑りやすくなるので座って行うようにし、歩く際には保育者と手を繋いで歩くようにする。また、汚れることが嫌な児もいるため、すぐに拭き取れるように雑巾を近くに準備しておく。



保育者の振り返りと気づき

○絵の具遊びを通して色に興味を持ち「あか」「あお」と話す姿があった。講師に英語での発音を教えてもらうことで真似をして「レッド」「ブルー」と発音して楽しむことができていた。保育者も意識的に英語の発言を増やし講師と英語で会話するようにすると、子どもも保育者と講師の会話が気になり、「今なんて言ってるの？」と英語に今までより興味を持って発言したり聞くことができていた。

☆講師との関係も深まってきたため、次回は一緒に戸外に出かけ、色以外の身近な自然物に興味をもつたり、英語での表現方法を知ったりする機会を設けたい。



活動事例④ なにがあるかな？～お散歩で英語発見～

活動内容

講師とともに散歩に出かけ、散歩中に発見した乗り物や動物、自然物などを英語で教えてもらったり、一緒に身体を動かしたりすることを楽しむ。



保育者の振り返りと気づき

○戸外活動中に発見したものを保育者や友だち、講師に指さしや言葉で伝えようとする姿がよく見られた。講師に英語での発音を教えてもらうことで真似をして話したり「これは？」と質問してみたりと言葉のやりとりを楽しむ姿があった。徐々に英語の単語を発言することが楽しくなってきたようで、信頼関係のある保育者に聞くのではなく、すぐに講師の方へ走って「なんていうの？」と聞くことができていた。

○講師との関係も良好になり、一緒に手を繋いで歩いたり自然物の探索を楽しんだりと笑顔も多く見られた。今後も英語の活動を継続していきながら、英語のリズムや音に慣れ親しみ、異文化への興味を高め、英語への肯定的なイメージを育んでいきたい。

用意した環境・保育者の配慮

- ・散歩中は保育者間で連携を取り、安全に歩行できるようにしていく。
- ・危険物などが落ちていないか散歩先の安全確認を十分に行う。
- ・花や葉っぱなど、普段散歩で触れている自然物のある環境で英語講師とのやりとりを十分に行い、英語に触れる樂しめるようにしていく。

